

中学生が市をよくするための 提案を行いました

～平成30年度 市長と語ろう！中学生ふれあい懇談会～



10月14日（日）に、市役所本庁舎議場において「中学生ふれあい懇談会」が開催されました。市内の各中学校から選出された16名の生徒が「郡上市を良くするために 中学生としての意見 ～郡上学の学びを生かす～」をテーマに、普段の学習などから考えられた市へのアイデア提案や質問などを行い、発表された意見について市長が自らの考えを述べました。また、市長と生徒が提案内容についての意見交換を行うなど活発な議論が交わされました。

空き家を生かしたまちづくり 【八幡西中学校】

八幡町内の課題として空き家問題があります。それら空き家を有効な資源として捉え、観光案内所や、夏衣レンタル・販売所などとして活用することを提案します。また、このような商業施設ができた場合に、市外へどのような広報活動をしていただけますか。



中邑優介さん、小槍乃愛さん

市長

空き家活用についてのよいご提案だと思えます。八幡町市街地や市全体においても空き家は増えていますので、ご提案の活用方法は実施可能だと思います。現在、郡上市では空き家を活用した様々な事業を行っていますがPR方法についてはホームページや広報誌などで行えると思いますのでみなさんからの知恵をいただきたいと思えます。

郡上の特産物を短歌で紹介 【大和中学校】

「晴天の青空のもと滑りゆく
白の景色で冬を楽しむ」

郡上おどりの

「夜8時にぎわう人影何人も
輪になり踊る下駄音カラン」
郡上市を良くするために、市民から短歌を募集し「短歌のまち」をPRしてはどうでしょうか。また、道の駅などのレジ袋に町の良い所を表現した短歌の印刷や、大和駅で行っている小中学生の短歌掲示を他の駅に広めてはどうでしょうか。



峯洞弘輝さん、木嶋瑠希亜さん

市長

大和中学校のみなさんは、素晴らしい短歌を作ってくれたと思います。また、短歌でのまちづくりが大和地域だけでなく、郡上の資源の一つとして、育っていくとよいと思います。大和駅の短歌については、大変印象に残っています。他の駅へも広がり、郡上市全体で短歌を振興していければよいと思います。

白鳥おどりの普及と活性化 【白鳥中学校】

白鳥おどりの期間中、初心者でも踊れるように講習会があると、参加しやすくなると考えます。また、白鳥おどりと郡上おどりが連携することで、さらに市全体を盛り上げていくことができると思います。白鳥おどりと郡上おどりの連携について構想があれば教えていただきたいです。

白鳥おどり、郡上おどりの講習会については、毎年シーズンが始まる前に開催されていますが、おどりの会場で踊りが始まる前に、保存会のみなさんによるレッスンを行っていただく時間があるのもよいかと思えます。また、郡上の人が伝統芸能に親しんでもらえるように、富山県の南砺平高校のような伝統芸能を学ぶ部活動などあればよいと思います。



高山直樹さん、大原侑芽さん

市長

「郡上映えツアー
～あー郡上に生まれてよかった～」
中学生対象の地域体験ツアー
【高鷲中学校】

小学校の通学路に中学生が立ち、地域のひとともに「ハイタッチ挨拶活動」を行いました。大好評だったので、市全体に広げたいと考えましたが、私たちは、他の地域をあまり知らない

ことに気がつきました。

そこで、中学生が夏休みなどの長期休暇を利用して、各地域を訪れる体験バスツアーを提案します。



小椋もも華さん、小椋なな佳さん

【市長】

中学生のみなさんにとって郡上市は広いので、生活圏が旧町村にとどまっている人も多いと思います。そこで、郡上市では「郡上かるた」や副読本を作り郡上のことを学んでいただけられるようにしています。また、提案にありました地域体験バスツアーも検討したいと思っています。

【教育長】

ハイタッチ挨拶運動が、郡上の癒しの姿として広まってほしいです。以前、中学生の提案で「郡上かるたチャレンジラリー」が発案され、現在行われていますので、実際、見て体験してほしいと思います。

子育て支援策の充実に向けて 【郡南中学校】

郡上市は、少子高齢化が進んでいます。そこで、現役世代が市内に残るようなまちづくりが必要だと考えます。大きなポイ

ントは「子育てのしやすさ」だと思いますので、現在の郡上市の「子育て支援策」について教えてください。

私たちが現役世代になったとき、子育て支援に魅力を感じる郡上市になるとよいと思います。



可児元汰さん、長尾凧紗さん

【市長】

子育てには、進学などの費用や医療費など、経済的な負担があります。郡上市の子育て支援については、医療費に対する中学生までの無料化及び高校生への助成や保育園・幼稚園の費用負担の軽減策など近隣他市にも負けない施策がいろいろあります。そして、安心して生み育てることが出来る環境づくりなども大切なことだと思います。

郡上を訪れる人を増やす 郡上に住みたい人を増やす 【明宝中学校】

観光客や宿泊客を増やすため、地元の人しか知らない観光コースを設定するなど、郡上市の魅力をPRすることが必要だと思います。

明宝には、移住者の人が多く、都会とは違うゆつたりとした時

間の流れや、人のつながりの温かさが魅力であると教えていただきました。そのような魅力をPRし、移住してもらえるとよいと思います。



伊佐地浩輝さん、原柚稀さん

【市長】

宿泊客を増やすことについては、そこに泊まるだけの魅力があるか、また、宿泊を受け入れる能力があるかということが重要かと思えます。後者の宿泊の受け入れ能力については、郡上市では現在、施設の老朽化に伴う修繕などについて支援を行っています。また、魅力ある観光コースの開発についても取り組んでいます。

お互いをもっと知り合おう これが僕らの地域自慢 【郡上東中学校】

私たちは、自分たちの住む地域以外についてはあまり知りません。同じ市民としてお互いがもっと知り合うことで、



大野理々華さん、兼山遥音さん

郡上を高めていくことができると思います。

そこで、ケーブルテレビなどを利用して、若者が自分たちの地域の良さを発信していくようにしてはどうかと思えます。

【市長】

他の中学校から同じような意見がありました。「郡上かるた」で知識はある程度得られても、実際に現地へ行く機会は少ないのではないかと思います。まずは、中学校同士の交流や、ケーブルテレビを通じ、地域のPRを行うとよいと思います。また、中学校が合同で運動会を行ってもよいのかもしれない。

【教育長】

市内中学校の合同運動会については、中学校間での調整が必要だと思えますが、郷土芸能など通じて交流など行っていただきたいと思います。

ゆかたDAY in 郡上 ゆかたDAYで郡上を発信 【八幡中学校】

私たちが、「ゆかたDAY」を開催した際、観光客や地元の人足を止めて一緒に踊って楽しんでくださるなど、自分たちの力で郡上の魅力をPRすることによって、人と人とのつながりや温かさを生みだせることを感じました。そこで、市民全員

がまちおこしに参画することを目的とした「ゆかたDAY」を市全体で行うことを提案をします。



和田陽喜さん、寺脇菜未さん

【市長】

「ゆかたDAY」は、八幡中学校のほか、市役所や金融機関等で行われています。現在は、それぞれ別の日に行っていますが、同じ日に一斉に行うことができればと思います。また、八幡町市街地では、観光客に町の風情を味わっていただくために浴衣で迎えていただくことは大切だと思います。

各中学校からの提案の後、それら内容について市長と生徒のみなさんで意見交換を行いました。

また、今夏の災害を体験した中学生としての考えを聞いたところ、自分たちの中学校がいつ避難所になるか分からないので、普段から整理整頓を行っておくことが大切だと感じたことや、避難所を利用した際に、地域のつながりの強さを感じられ、あまり不安になることなく過ごせたことなどの意見がありました。